

# 足跡に光 晴れやか

## 岐阜新聞大賞贈呈式



贈呈式でトロフィーを受け取る受賞者＝岐阜市橋本町、岐阜放送テレビスタジオ (撮影・坂井萌香)

### 金メダルを取ったような気持ち

神原信志さん（岐阜大副学長＝環境負荷物質の浄化や脱炭素エネルギー開発、カーボンリサイクル技術の創出で顕著な成果、人材育成と知的基盤強化に寄与）金メダルを取ったような誇らしい気持ち。2026年度には、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を出さない発電システムの試作が完了する。30年までに何とか社会実装して普及させたい。

### 学生と成果共有できたのは喜び

伊藤彰近さん（岐阜薬科大教授＝「グリーンケミストリー」の概念に沿った医薬品合成に資する新規反応を開発、多孔質結晶を用いた有用な反応を見いだす）地味な基礎研究の分野に光を当ててもらい、お礼申し上げます。苦勞の連続だったが、成果という光が見えた瞬間を学生と共有できたのは喜び。だから研究者という職業はやめられない。

### 夫の実行力や行動力は私の誇り

長澤知明さんの妻・弘子さん（知明さんは元極小美術館代表・昨年11月4日、77歳で死去＝若手の作家に発表の場を提供するため私財を投じて美術館を開設。人々をつなぐ場を築いた）美術館運営ができたのは、応援してくださった皆さまのおかげ。思うだけでなく実際に美術館をつくって運営した夫の実行力、行動力は私としても誇り。

### 受賞者らが喜び

岐阜放送テレビスタジオ（岐阜市橋本町）で14日に行われた第76回岐阜新聞大賞贈呈式では、受賞した5人が喜びを語り、各分野でのさらなる活躍と地域貢献への思いを表した。

岐阜新聞社の矢島薫社長とあいさつ。選考委員長の



吉田和弘岐阜大学長は選考の経緯を報告し「後進の指導育成、さらに郷土岐阜地域の発展のために尽力してほしい」と語った。

来賓の足立葉子副知事は「経験に裏打ちされた知恵で力添えをいただきたい」と述べ、県市長会長の浅野健司各務原市長は「この受賞を新たなスタートに、さらなる活躍を期待する」とエールを送った。

贈呈式の模様は15日午後2時から、ぎふチャンネルで放送する。